

校内の安全対策等に関する他都市等の取り組みについて

- 小学生・中学生が同じ校舎で生活することによる安全面や運営面での課題について、先進的な他都市等の取り組みを調査しました。
- 他都市等では、開校後に特段の支障は生じていない状況です。
- （調査都市）
- ・ 政令指定都市 2 市、東京都特別区1区、愛知県1市
 - ・ 本市笹島小・中学校

事項	主な取り組み例
校内の移動・活動に伴う児童生徒の安全性確保	・ 教室を小学生は低層階、中学生は高層階に配置し、分離 ・ 昇降口を小中学校で分離。または昇降口が一か所でも、学年により利用する扉や階段を分離 ・ 階段は、小学生に配慮した高さ ・ 水深の異なる2層式プールや昇降機能付きプール等の設置 ・ オープンスペースを広く取り、廊下を広げる など
運動場・体育館における児童生徒の安全性確保（体育授業、休み時間等）	・ 体育の授業は、時間割の工夫により、小・中学生を分離 ・ 複数の体育館を小学生用、中学生用に区別し、利用 ・ 休み時間をずらす。重なる場合は、学年別に使用日、時間及び場所を分離 ・ 放課後は、小学校は校舎のグラウンドを利用し、中学校部活動は第2グラウンドを利用する など
指導・運用面における安全性確保	・ 小中学校双方の教職員が児童生徒の様子を把握 ・ 中学生はやさしく小さい子に配慮しており、心配はない ・ 校舎内の移動を並んで引率 など
登下校時間・授業時間の違いへの対応	・ 小中学生の登下校時間が重ならないよう、時間割を調整 ・ チャイムは、小中学校で音色を分ける、または全学年共通の時間のみチャイムを鳴らす（1日3回） など
小学生の声が中学生に与える影響への対策	・ 教室配置等により、大きな支障はない ・ 中学校のテスト期間は、必要に応じ、小学生への指導や活動時間の調整を行う など